

## 平成 28 年度 第 3 回三条市地域公共交通協議会議事録

- 1 開催日時 平成 28 年 12 月 22 日（木）午後 2 時～午後 2 時 45 分
- 2 場 所 三条市役所三条庁舎 4 階 全員協議会室
- 3 出席委員 松本昌二副会長、笹井修、古田哲、青野秀明（福島晶子代理）、安藤善紀（宮野岳代理）、大山強一、浅野吉信（中山真代理）、土田勲（櫻井秀昭代理）、五十嵐七男夫、坂井久男、高橋智彦、小松美保子、上野義生（齋藤光雄代理）、瀬戸正志（更科明大代理）、大野新吉（梨木建夫代理）、佐々健、鈴木泰行（鳶田眞六代理）、佐藤春男、渡辺一治、長谷川正実（以上 21 名）  
（欠席委員 國定勇人会長、前川幸子、高橋清吉、武田敏、久住とも子）
- 4 市出席者 事務局 渡辺事務局長（市民部長）、小林次長（環境課長）、五十嵐次長補佐（環境課長補佐）、藤田（生活安全・交通係長）、遠山（主任）
- 5 傍聴者 村井容江、立浪弘貴、五十嵐康一
- 6 会議概要
  - (1) 開 会
  - (2) 変更委員の紹介
  - (3) 出席委員及び市出席者自己紹介
  - (4) 議 事
    - ア 報告
      - (ア) 平成 28 年度公共交通利用状況について  
事務局から資料No.1 により報告後、質疑に入るが質疑なし。
      - (イ) 三条市デマンド交通の 10 月臨時運行及びおでかけパス社会実験途中経過について  
事務局から資料No.2 により報告後、質疑に入るが質疑なし。
    - イ 議題  
平成 28 年度地域公共交通確保維持改善事業 事業評価（案）について  
事務局から資料No.3 による説明後、質疑に入る。  
小松委員：福沢線の⑤について、「自家用車送迎による影響」とあるが、目標値を達成できなかったことの原因としての記載なのか、それとも前年比増の理由としてのものか。また、市内循環バスの⑤について、目標値を達成できなかったことの原因の記載が無い。ちなみに、前年比利用実績増の理由については、どのように考えているか。  
事務局：分かりにくい記載となっているため、御意見を踏まえ、修正したい。また、市内循環バスの前年比利用実績増の理由に

については、平成 26 年 4 月に行った路線変更が定着してきたものとする。

佐藤委員：昨今、特に問題視されている高齢者への対策については、どう考えているか。

事務局長：御指摘の件については、市としても重く受け止めている。高齢者の免許証返納に対してタクシー券を配布する等自主返納を促す施策を実施している自治体もあるが、当市は公共交通の充実で対応したいと考えている。平成 29 年度は、現在実施中のデマンド交通「おでかけパス」社会実験の結果を分析、検証した中で、高齢者を対象とした全市展開を検討していきたい。今後、皆様に御相談した上で実施することを考えている。

松本委員：おでかけパスの社会実験については、複数乗車を促進するための施策か、それとも新規利用者を獲得するための施策としてのものか。

事務局長：外出機会の増加による健康寿命延伸、遠隔地住民の負担軽減、高齢者運転免許証自主返納への動機づけ、複数乗車率の向上（本来の公共交通の姿へ）の 4 つを目的としているので、御指摘の 2 点とも目的としているものとする。

佐藤委員：1 人乗車でもある程度の利用回数になれば割引するようなことも検討できないか。

事務局：公共交通の充実としてデマンド交通や循環バス等を運行しているが、御意見を踏まえ、デマンド交通のみならず、例えば利用率向上のため、循環バスをバスの日（9 月 20 日）に継続的に走らせること等により公共交通の周知を行うなどの新たな施策を実施できるかどうかを、費用負担の面でも検討させていただいた上で、協議会に諮りたい。

以上の質疑の後、資料 No. 3 の表記について修正することを含め、議長から諮り、全員異議なく承認と決定した。

#### ウ その他

佐藤委員：平成 28 年 1 月に大雪があったが、公共交通機関の利便性や安全性について確保できるよう、交通事業者に指導願いたい。

事務局：新潟県内で交通事故による死者数が 100 人を越えたということで報道されている。安全性を最優先として、国、県とともに必要な注意喚起等を行いたい。また、一昨日の市内での踏切事故を受け、JR に今後の踏切の在り方等について相談している。安全性の確保に努めたい。

エ 事務連絡

事務局長：今後「おでかけパス」社会実験の結果を踏まえ、下田地域だけでない全市の高齢者を対象に展開することも検討している。以後、これについての審議も予想されるので、今後ともよろしくお願ひしたい。

(5) 閉 会